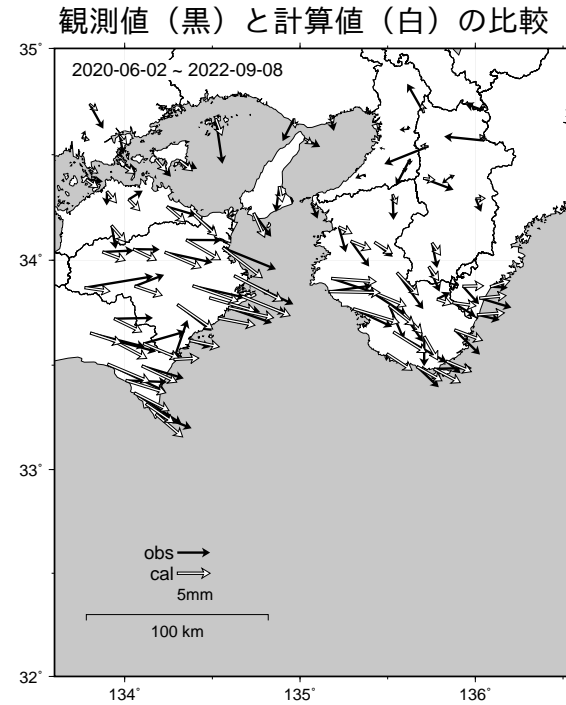
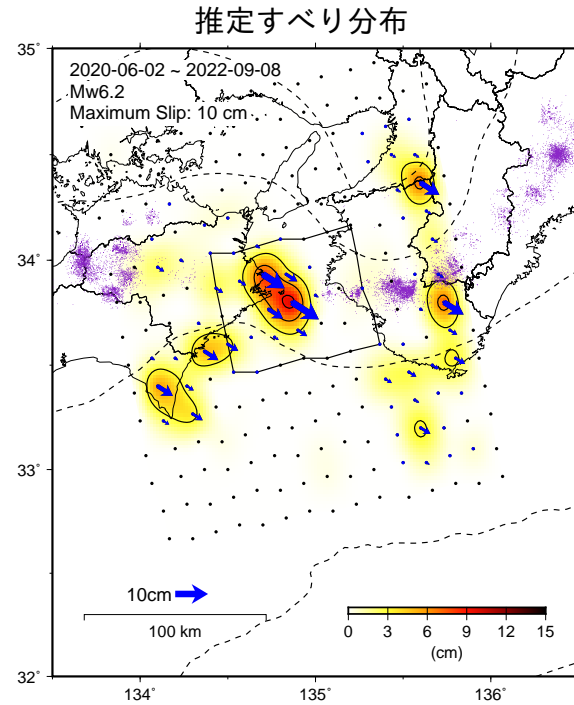


GNSS データから推定された紀伊水道の長期的ゆっくりすべり (暫定)

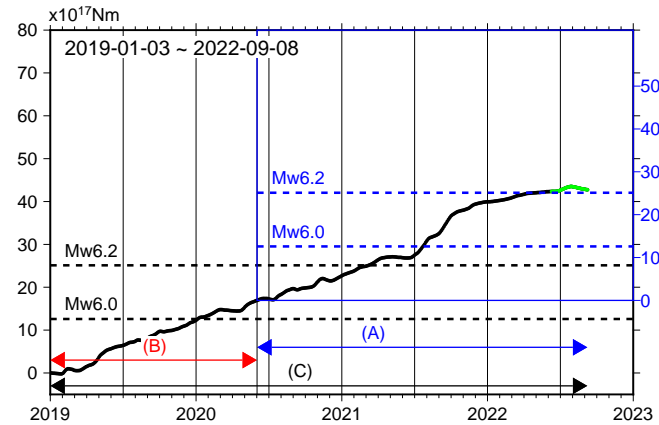


Mw 及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量 (カラー) 及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差 (σ) の3倍以上のグリッドを青色表示している。

紫丸: 低周波地震 (気象庁一元化震源) (期間: 2020-06-02~2022-09-08)
黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線 (Hirose et al., 2008)

使用したデータ: GEONET による日々の座標値 (F5, R5 解)
※電子基準点の保守等による変動は補正済み
トレンド期間: 2017-01-01~2018-01-01
(年周・半年周成分は 2017-01-01~最新のデータで補正)
モーメント計算範囲: 左図の黒枠内側
観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値
すべり方向: プレートの沈み込み方向と平行な方向に拘束
固定局: 網野
※共通誤差成分を推定

モーメント ※ 時系列 (試算)



※モーメント
断層運動のエネルギーの目安となる量。
地震の場合の Mw (モーメントマグニチュード) に換算できる。